

教科名 国語

1 学年

月	時数	単元名 題材	学習内容・活動
4月	6時間	◆言葉に出会うために 朝のリレー 野原はうたう 1 学びをひらく	・詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現などを発表する。 ・詩の良さが伝わるように音読する。 ・場面の展開に沿って、二人の関係の変化を整理する。
5月	11時間	シンシュン 情報を的確に聞き取る 情報整理 比較・分類 情報を整理して書こう (ICT)	・読み深めた感想を交流する。 ・効果的なメモの取り方を確かめ、連絡を聞きメモを取る。 ・情報を比較、分類する方法を確認し、問題に取り組む。 ・情報を集め、整理する。 ・構成を考え、文章にする。
6月	16時間	漢字1 漢字に親しもう1 2 新しい視点で ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 意見と根拠 漢字に親しもう2 文法への扉1 話の構成を工夫しよう	・漢字の組み立てに興味を持ち、部首の種類について理解する。 ・文章の中心的な部分を捉え、段落の役割について考える。 ・文章の構成に着目し、要旨を捉える。 ・文章の構成に着目し、その効果を捉える。 ・説得力のある根拠について考える。 ・練習問題に取り組む。 ・言葉のまとまりについて考える。 ・調べ方を考え、情報を集める。 ・情報の適切な引用の仕方を考える。
7月	12時間	◆情報社会を生きる 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう (ICT) 3 言葉に立ち止まる 詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 言葉を集めよう	・著作権について知る。 ・作品を音読し、描かれた情景や表現の効果について話し合う。 ・詩の良さを発表する。 ・段落の役割を押さえて読み、内容を捉える。 ・指示する語句について理解する。 ・接続する語句について理解する。 ・教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。
8月	3時間	◆読書活動を豊かに 読書を楽しむ 本の中の中学生	・夏休みに向けた読書活動を計画する。 ・好きな本の紹介文を書く。 ・描写に着目して登場人物の心情を捉える。
9月	14時間	4 心の動き 大人になれなかった弟 たちに…… (SDGs 関連 16) 星の花が降るころに 聞き上手になろう	・表記に込められた作者の意図を考える。 ・「私」を中心に作品の内容を押さえる。 ・場面や描写を結び付けて読む。 ・「きき方の工夫」と「質問の種類」を読み、質問を考える。
10月	15時間	言葉2 項目を立てて書こう 漢字2 読み手の立場に立つ 5 筋道を立てて	・案内文の書き方を確かめる。 ・案内する事柄と相手を決め、情報を整理する。 ・「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。 ・読み手の立場に立って、案内文を推敲する。 ・文章の構成と内容を捉える。 ・論の展開に着目し、その効果を考える。 ・結論に説得力をもたせるために、どのような工夫をして

11月	14時間	「言葉」をもつ鳥、シ ジュウカラ 原因と結果 根拠を示して説明しよう 漢字に親しもう3 話題や展開を捉えて話し合おう 音読を楽しもう 6 いにしへの心にふれる いろは歌 蓬萊の玉の枝	いるか考える。 ・原因と結果を抜き出し、どのようにつながっているかを整理する。 ・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。 ・話し合いの話題を決める。 ・グループで話し合いを行い、結果を報告する。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・「いろは歌」を音読する。 ・古典の文章について、現代の文章との違いを確かめる。 ・描かれている古典の世界を想像する。 ・本文を読み、故事成語について理解する。 ・故事成語を使って、体験文を書く。
12月	13時間	今に生きる言葉 7 価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 漢字に親しもう4 文法への扉2 ◆読書に親しむ 考える人になろう 君たちはどう生きるか	・本文を通読し、内容を捉える。 ・筆者の考えを要約する。 ・根拠を明確にして、意見をまとめる。 ・作品を選び、内容や魅力を分析する。 ・どの観点から論じるかを決め、書評を書く。 ・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。 ・言葉の関係について考える。 ・文章を読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・文章を読んで考えたことをグループで発表しあう。
1月	12時間		
2月	13時間	8 自分を見つめる 少年の日の思い出 随筆二編 構成や描写を工夫して書こう	・作品の展開を捉え、「僕」の心情の変化をまとめる。 ・別の人物の視点から文書を書き換える。 ・作品を通読し、語句や表現の工夫に着目する。 ・具体的な材料を書き出し、構成を考える。 ・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。
3月	11時間	漢字に親しもう5 文法への扉3 一年間の学びを振り返ろう 言葉3 漢字3 漢字に親しもう6 文法・漢字・振り返り	・「自立語と付属語」、「品詞」、「体現と用言」について理解する。 ・印象に残っていることや興味を引かれたことの中から観点を決め、情報を整理する。 ・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。 ・詩を読み、印象に残った表現を発表する。 ・三つの表現の意味を考える。 ・学習を振り返り、理解を深める。
	計140		

※ その他必要に応じて、聞き取りテストや漢字テスト、スピーチや作文を実施していく。また、適宜、学習ドリルソフトを活用していく。書写指導においては行書体（硬筆・毛筆）を学ばせる。